



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所名
 コード番号 9077 URL http://www.meitetsuunyu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米原 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 中島 正人 (TEL) (052) 935-5721
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	20,914	△0.3	753	△1.4	783	3.7	325	—
23年3月期第1四半期	20,969	7.8	764	14.1	755	24.3	△53	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 322百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △148百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第1四半期	円 銭 13 41	円 銭 —
23年3月期第1四半期	△2 18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第1四半期	百万円 72,510	百万円 9,339	% 12.9
23年3月期	72,464	9,066	12.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 9,339百万円 23年3月期 9,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 2 00	円 銭 2 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0 00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	△3.5	800	△47.9	600	△60.5	200	△48.5	8 23
通期	83,000	△2.1	1,800	△39.9	1,400	△51.2	500	△59.7	20 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	24,402,991株	23年3月期	24,402,991株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	99,173株	23年3月期	99,173株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	24,303,818株	23年3月期1Q	24,307,150株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断、関東地方を中心とした電力不足や震災・原発問題に起因する自粛ムードにより個人消費の低迷が続くなど、経済活動は大幅に落ち込みました。また、生産の急減により輸出も減少傾向が続き、資源価格の上昇基調もあって企業業績についても減収・減益への反転を余儀なくされました。

こうした中、物流業界におきましても、個人消費の低迷や被災地における出荷の停止、サプライチェーン寸断による生産活動の減退など、主力の生産関連貨物が停滞し、被災地への救援物資輸送などの一部の特需はあったものの、全体的には低調に推移しました。

当社グループにおきましても、当第1四半期連結累計期間は、東日本大震災による人的・物的な被害や東北地区におけるネットワークの毀損、被災地からの出荷減などの大きな影響を受けました。このため、被災地以外において収入確保に向けた既存荷主の囲い込み強化や新規荷主の拡大に努めるなど営業力の強化に努めたものの、サプライチェーン寸断による出荷減や消費マインドの低下は被災地にとどまらず全国的にも大きく影響し、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は前年実績を僅かに下回る結果となりました。

一方、経費面におきましては、軽油価格の上昇に伴って燃料油脂費が大幅に増加しましたが、人件費の抑制や運行効率化、諸経費の圧縮に鋭意努めました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同四半期比0.3%減の20,914百万円となり、営業利益は前年同四半期比1.4%減の753百万円となりました。

しかし、有利子負債の圧縮による支払利息の減少などにより営業外費用が前年実績から減少したことから、経常利益は前年同四半期比3.7%増の783百万円となり、前年実績から特別損失が315百万円減少したことなども寄与した結果、当四半期純損益は前年同四半期から378百万円改善の325百万円の利益を確保することができました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

(貨物自動車運送事業)

貨物自動車運送事業では、震災による救援物資輸送などの特需はあったものの、国内における生産活動の低下から貨物輸送量が停滞したことに加え、運賃単価の下落基調が続き、連結売上高は前年同四半期比0.3%減の17,573百万円となりました。

(航空利用運送事業)

航空利用運送事業では、国際貨物輸送について他社への移管を進めている影響などにより、連結売上高は前年同四半期比5.7%減の1,887百万円となりました。

(流通事業)

流通事業では、震災の影響を直接受けなかった荷主や、被災地から中部地区への生産拠点のシフトなどにより製品在庫の保管・荷役数量が好調に推移しました。その結果、連結売上高は前年同四半期比7.6%増の1,430百万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、新規の貸貸を開始するなど遊休資産の有効活用に努めた結果、連結売上高は前年同四半期比27.7%増の23百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産の部]

流動資産は、前連結会計年度に比べて3.4%増加し、13,483百万円となりました。これは、現金及び預金が213百万円、繰延税金資産が180百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度に比べて0.7%減少し、59,026百万円となりました。これは、減価償却などにより有形固定資産が357百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べて45百万円増加し、72,510百万円となりました。

[負債の部]

流動負債は、前連結会計年度に比べて0.8%減少し、36,473百万円となりました。これは、未払費用などの増加によりその他が1,081百万円増加したのに対し、短期借入金が901百万円、1年内返済予定の長期借入金が236百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて0.2%増加し、26,696百万円となりました。これは、長期借入金が126百万円増加したのに対し、リース債務が75百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べて228百万円減少し、63,170百万円となりました。

[純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度に比べて3.0%増加し、9,339百万円となりました。これは、主として利益剰余金が277百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、震災による救援物資輸送などの特需があった一方で当社グループを取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。よって、平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想に大きな変化がある場合には適時に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	313	527
受取手形及び営業未収入金	11,576	11,501
有価証券	2	2
貯蔵品	166	156
繰延税金資産	218	399
その他	845	932
貸倒引当金	△85	△35
流動資産合計	13,037	13,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,574	32,639
減価償却累計額	△20,940	△21,125
建物及び構築物(純額)	11,634	11,513
機械装置及び運搬具	18,884	18,702
減価償却累計額	△13,517	△13,506
機械装置及び運搬具(純額)	5,366	5,196
土地	36,171	36,162
リース資産	1,127	1,109
減価償却累計額	△554	△592
リース資産(純額)	573	517
その他	1,137	1,148
減価償却累計額	△891	△904
その他(純額)	246	244
有形固定資産合計	53,991	53,634
無形固定資産		
リース資産	196	176
その他	367	360
無形固定資産合計	564	536
投資その他の資産		
投資有価証券	2,104	2,102
長期貸付金	79	79
繰延税金資産	298	294
その他	2,463	2,437
貸倒引当金	△75	△58
投資その他の資産合計	4,870	4,854
固定資産合計	59,427	59,026
資産合計	72,464	72,510

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,501	7,486
短期借入金	8,544	7,643
1年内返済予定の長期借入金	16,126	15,889
リース債務	282	280
未払法人税等	516	438
賞与引当金	194	50
その他	3,602	4,684
流動負債合計	36,768	36,473
固定負債		
長期借入金	16,351	16,477
リース債務	421	345
繰延税金負債	687	755
退職給付引当金	5,189	5,213
役員退職慰労引当金	110	94
再評価に係る繰延税金負債	2,756	2,756
資産除去債務	572	575
負ののれん	5	4
その他	534	472
固定負債合計	26,629	26,696
負債合計	63,398	63,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	1,534	1,534
利益剰余金	3,872	4,150
自己株式	△19	△19
株主資本合計	7,454	7,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	196	193
土地再評価差額金	1,414	1,414
その他の包括利益累計額合計	1,611	1,608
少数株主持分	0	0
純資産合計	9,066	9,339
負債純資産合計	72,464	72,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	20,969	20,914
売上原価	19,408	19,347
売上総利益	1,560	1,567
販売費及び一般管理費		
人件費	454	436
施設使用料	114	126
その他	226	250
販売費及び一般管理費合計	795	813
営業利益	764	753
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	36	38
受取手数料	19	16
貸倒引当金戻入額	—	54
その他	83	36
営業外収益合計	139	147
営業外費用		
支払利息	141	106
持分法による投資損失	0	0
その他	6	10
営業外費用合計	148	117
経常利益	755	783
特別利益		
前期損益修正益	11	—
固定資産売却益	17	25
負ののれん発生益	41	—
退職給付制度終了益	29	—
その他	12	0
特別利益合計	111	26
特別損失		
固定資産処分損	11	3
減損損失	1	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	363	—
投資有価証券評価損	11	—
割増退職金	—	48
その他	3	12
特別損失合計	390	75
税金等調整前四半期純利益	476	734
法人税、住民税及び事業税	564	515
法人税等調整額	△34	△106
法人税等合計	529	409
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△53	325
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△53	325

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△53	325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95	△3
その他の包括利益合計	△95	△3
四半期包括利益	△148	322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148	322
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,618	2,002	1,329	20,950	18	20,969	—	20,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	264	82	9	356	—	356	△356	—
計	17,883	2,084	1,339	21,307	18	21,326	△356	20,969
セグメント利益	1,272	85	214	1,573	13	1,586	△26	1,560

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおり
ます。

(注) 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,573	1,887	1,430	20,891	23	20,914	—	20,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	284	63	13	361	—	361	△361	—
計	17,857	1,951	1,444	21,253	23	21,276	△361	20,914
セグメント利益	1,252	118	206	1,577	16	1,593	△26	1,567

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおり
ます。

(注) 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。